

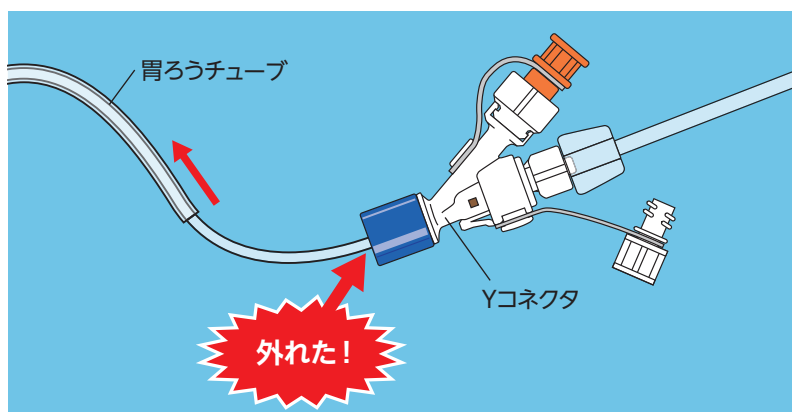
投与中の注意事項

チューブが抜けてしまった場合の対応	50
腹痛、吐き気、嘔吐等の症状があった場合の対応	51
その他の注意事項	53
副作用に関する情報	54

投与中の注意事項

チューブが抜けてしまった場合の対応

- Yコネクタから胃ろうチューブが抜けてしまった場合は、速やかに医療機関に連絡して指示に従ってください。



対応方法

- ①これ以上チューブが抜けないための応急処置として、外れた胃ろうチューブをサージカルテープなどの低粘着性テープで元の位置に固定します。
- ②ポンプを作動させて画面が **ドウサチュウ** になってお薬が投与されているか確認します。
- ③医療機関に連絡してできるだけ詳細を伝えて指示を受けます。

医師に伝える内容例

- 胃ろうチューブが外れてしまい、胃ろうチューブの内側を通る空腸チューブが外に出てしまったこと。
何センチくらい空腸チューブが出てしまったか、何をしていた外れたのかも伝えます。
- 応急処置をして胃ろうチューブをテープでもとの位置に固定していること。または、固定していないこと。
- 現在デュオドーパの投与はできていること。または、投与ができない状態であること。
- 現在のお体の状況(腹痛、吐き気はないか? お薬は効いているか? など)。

胃ろうチューブが外れてしまったことにより、お腹の中の空腸チューブがお薬の吸収部位からずれて、お薬の効き目が悪くなることがあります。また、一度外れた胃ろうチューブは緩んで外れやすくなります。そのため、医師は状況に応じてコネクタやチューブの交換などの処置を行うことがあります。

腹痛、吐き気、嘔吐等の症状があった場合の対応

- 胃から腸にチューブを入れますので、次のようなことがおこり腹痛、吐き気、嘔吐等の症状があらわれることがあります。

この場合は、ただちに使用を中止して医師に相談してください。

- ・胃石(チューブの先端に食べたものがからまる)
- ・イレウス・腸閉塞(腸が詰まった状態)
- ・胃瘻部位びらん・潰瘍
- ・術後創傷感染・腸出血
- ・腸管虚血
- ・腸管穿孔(腸に穴があいた状態)
- ・腸重積(腸管に腸管が入り込み、腸が詰まった状態)
- ・臍炎
- ・腹膜炎・気腹(腹腔内に空気がたまった状態)
- ・膿瘍
- ・敗血症
- ・肺炎(誤嚥性肺炎を含む)

胃ろうチューブの内側を通る空腸チューブが胃内へ抜け落ちてしまった場合にも、薬の効き目が悪くなったり、腹痛、吐き気、嘔吐等の症状があらわれることがあります。

空腸チューブを洗い流す(フラッシングの)際に、前回と比べて明らかに軽い力で水の注入ができた場合には、胃ろうチューブの中に空腸チューブが通っているかを確認してください。もしも胃ろうチューブの中に空腸チューブが確認できない場合は、速やかに医師に相談してください。

- 食物繊維の豊富な食物(エノキ・しいたけ・しめじなどのきのこ類、アスパラガス、フキ・わらびなど)を食べた場合、その繊維が留置した空腸チューブの先にからまり、チューブの先が塞がれたり、腸の閉塞をひきおこす場合があります。このような食物繊維の豊富な食物を食べるときは、細かく切る、筋を取る、十分に煮て柔らかくするなど調理を工夫したり、よく噛んだ後に飲み込んでください。また、ゆっくりと適量を取るようにし、早食いや食べ過ぎは避けましょう。

調理の工夫



食事をするとき



もしも、腹痛、吐き気があったり、チューブが引っ張られるような感覚がありましたら、ただちに使用を中止して医師に相談してください。

その他の注意事項

- この薬を使用すると、ニューロパチー(感覚のまひや手足のしびれなど)があらわれることがあります。使用中にこのような症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- この薬の急激な減量や中止により悪性症候群(38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり)があらわれることがあります。減量または中止する場合には、少しずつ使用量を減らしていきます。
- 閉塞隅角緑内障(目の前に霧がかかったような感じ、眼のかすみ、頭痛、眼の痛み、視力の低下などの症状があらわれる)のおそれのある人は、眼科検査を行うことがあります。
- 突発的睡眠(前兆もなく突然眠る)や傾眠(眠気でぼんやりする)、眼の調整障害、注意力・集中力・反射機能などの低下がおこることがありますので、本剤を使用中は、自動車の運転や危険を伴う機械の操作はしないでください。
- 社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返す、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんやご家族の方は、これらの症状について医師から十分な説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。
- 妊婦または妊娠している可能性のある場合は、速やかに医師に相談してください。
- 授乳中の場合は、授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用に関する情報

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
あくせいしょうこうぐん 悪性症候群	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
げん かく 幻 覚	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
さく らん 錯 乱	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
よく 抑うつ	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
い かいよう 胃潰瘍・ じゅうに しちようかいよう あつか 十二指腸潰瘍の悪化	吐き気、嘔吐、腹痛、血が混ざった便、便が黒くなる
ようけつ せいひんけつ 溶血性貧血	からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ、めまい、頭が重い、白目が黄色くなる、動く時の動悸や息切れ、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
けっしょうばん げんしょうしょう 血小板減少症	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
とつ ぼつてき すいみん 突発的睡眠	前兆もなく突然眠る
あくせい こくしよくしゅ 悪性黒色腫	ほくろがかゆい、ほくろから血が出る、ほくろが大きくなる、ほくろが痛い、ほくろが潰瘍になる、赤茶色のかさぶた
へいそく ぐう かくりよくないしゅう 閉塞隅角緑内障	眼のかすみ、眼の前に霧がかかったような感じ、頭痛、眼の痛み、充血、視力の低下、吐き気

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次頁のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだがだるい、ふらつき、疲れやすい、立ちくらみ
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、意識が乱れる、意識の混乱、めまい、頭が重い、頭痛
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる、眼のかすみ、眼の前に霧がかかったような感じ、眼の痛み、充血、視力の低下
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、嘔吐 ^{おうと} 、歯ぐきの出血
胸部	吐き気、動く時の動悸 ^{どうき} や息切れ
腹部	吐き気、腹痛
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、ほくろがかゆい、ほくろから血が出る、ほくろが大きくなる、ほくろが痛い、ほくろが潰瘍になる、赤茶色のかさぶた
筋肉	筋肉のこわばり
尿	尿が褐色になる
便	血が混ざった便、便が黒くなる
その他	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠、出血が止まりにくい、前兆もなく突然眠る